



駅派出検査体制等の見直しについて

提案を受けました 《その②》

【会社との議論内容:「フレキシブルな勤務体制」について】

◆「本所と派出の融合を行いフレキシブルな勤務体制」とは？

⇒ **豊田車セの技術ユニット、臨修などの方にも派出業務に入ってもらいたい**

全員とはならないが管理者が人選し教育（派出の人が核となり派出業務を担う人を増やす）
現在9名しか派出担務の経験者はいないので、徐々に派出担務対象者を増やす

2徹2日勤の教育で、G番かH番として1本にしていく考え

◆派出から本区に来る方や派出担務教育の対象者に面談はしないのか？

⇒面談はしない **勤務者や対象者に管理者が聞いた上で、希望・家庭や健康上の事情を加味**

◆山梨県から遠距離通勤する人もいる。長年派出を担った社員が日勤になる中で通勤事象などは加味しているか？

⇒ **派出担務者の事象などは管理者が把握していく 変化点のコミュニケーションは必要になる**



【組合としての訴え】

◆今後、派出担務者が増えると言う事は、長年泊まり勤務であった派出の社員が日勤業務を行う事になる。また日勤業務者が泊まり勤務を行う事になる。

⇒ **生活設計の問題にもなる観点から、会社資料の説明だけでなく、どの様な勤務になるか等の説明を確実にを行うように求める！**

【会社の答え】 **車両センターの社員にはしっかり説明していく(特に対象者)**

【会社との議論内容:本区からの出勤時の体制について】

◆出勤の可否や一人で対応可能かどうかは派出担務出勤者の判断を優先すること

⇒ **トライアルの課題として検討する**

◆2名出勤の基本的な考えに変わりないか？

⇒ これまでも1人で対応可能と判断したものは1人で行ってきたが、**基本の考えは変わらない**

◆G番とH番が本区勤務時に「お互いにどこにいるか？何をしているか？」などの意思疎通が図れるようにするのか？（例：G番は技管・H番は臨修）

⇒ **トライアルの課題として受け止める**

【会社との議論内容:設備などについて】

◆派出や本所の設備変更はあるのか？

⇒ 派出の工具や設備に変更はない ただし忍錠(ラッチ)と業務用携帯は本所で管理

◆汚損により交換した座面はどうするか？

⇒ 立川営統セにシート洗浄機や乾燥機がある ひどい場合は本区で対応

◆派出担務対象者が増える中で女性も対象になるのか？女性設備は？

⇒ 今は考えていないがいずれは女性も対象になる。立川総合事務所で泊まるので問題はない

【会社との議論内容:協力会社への出勤について】

◆JETS所属の派出に出勤する体制は？

⇒ 車両職による対応が必要と判断した場合は豊田車セで対応(特に車両職がいない派出)

車両職(仕業検査など)がいる派出に行く可能性は低い

ワンマンのP編成に多く発生するパンタグラフの段付き摩耗に関しては立川派出で対応する

職場からの議論で、働きやすい職場を創り出そう！！